

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システムマニュアル2016 ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東名古屋画像診断クリニック	階数	地上5階、地下1階
建設地	名古屋市昭和区山手通2丁目7-7、7-8、7-9、7-10	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	175 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,130 時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年11月7日
敷地面積	1,655 m ²	作成者	
建築面積	1,172 m ²	確認日	2024年11月7日
延床面積	4,252 m ²	確認者	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 0.9 ★★★★★		標準計算	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		①参照値	
		②建築物の取組み	
		③上記+②以外のオンサイト手法	
		④上記+オフサイト手法	
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	
		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.8	
Q 環境品質		Q1 室内環境	
		Q2 サービス性能	
		Q3 室外環境(敷地内)	
		LR 環境負荷低減性	
		LR1 エネルギー	
		LR2 資源・マテリアル	
		LR3 敷地外環境	
3 設計上の配慮事項		LR のスコア = 2.9	
総合		その他	
周辺環境及び省エネに配慮した計画とした。			
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
室内仕上げ材は全てF☆☆☆☆としている。		耐用年数の長い配管材や内装材を利用して、長寿命化に配慮している。	
Q3 室外環境(敷地内)		屋外庭園を設け開放的な空間に配慮している。また、室外機等機械設備をGL+10m以上に設置することで歩行空間の暑熱環境に配慮している。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
LED照明により、設備システムの高効率化に配慮している。		自動水栓や節水型便器などにより、節水に配慮している。	
LR3 敷地外環境		適切な駐輪・駐車スペースの確保に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

東名古屋画像診断クリニック

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.0
LR1	エネルギー	3.1	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.091114223	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009111422	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045557112	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.0



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.8



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。